

弥富市長の安藤正明でございます。

このたび、愛知県下に発出されておりました「緊急事態宣言」が6月20日をもって解除されました。

しかしながら、名古屋市を始めとした14の市町の区域に対しましては、7月11日まで「まん延防止等重点措置」への移行が決定されております。

弥富市におきましては、重点措置の区域外とはなりましたが、飲食店等の営業を午後9時までとする短縮営業など、引き続き感染防止対策の徹底をお願いいたします。

このような状況を踏まえ、市内公共施設につきましてもカラオケ施設等を除き、本日6月21日から順次、利用開始することを決定しました。

利用者の皆さまにおかれましては、十分な感染対策のもとでご利用いただきますようご協力をお願いいたします。

また、弥富市内の感染者数は、これまで283名で、今月の新規陽性患者数は9名の報告があります。減少傾向ではありますが、依然として予断を許さない状況が続いていると考えます。

そうした中、新型コロナウイルス感染症を抑え込む「切り札」でありますワクチン接種については、海南病院を始め個別接種指定医療機関のご協力とご尽力により順調に進んでおります。

市役所保健センターでの集団接種におきましても、皆さまからのご指摘や課題に柔軟に対応しながら、職員一丸となって引き続き実施してまいりたいと思います。

クーポン券をお持ちの方で予約が取れていない方など、ワクチン廃棄防止の取り組みとしまして、キャンセル待ち登録へご協力をお願いします。

また、ワクチンは2回接種で一層効果があると言われてい

ます。

接種には、個人の意思が尊重されることから、接種の強制や接種歴の有無による差別・誹謗中傷をすることのないようお願いいたします。

引き続き、ワクチン接種に関する情報は、市内医療機関や関係機関と連携を図りながら、ホームページ等を随時更新してまいります。

市民の皆さまにおかれましては、制約が続きますが、一人ひとりの行動が家族や友人、職場・学校といった大切な方の健康や生命を守ることになります。

宣言解除後の気の緩みや自粛疲れの反動、コロナ慣れといったことがないよう強い意識のもと、一日も早く日常を取り戻していただくため、引き続き、感染者の多い区域への不要不急の移動を自粛し「感染しない・感染させない」といった基本的な感染防止対策の徹底をお願いいたします。

令和3年6月21日

弥富市長 安藤 正明